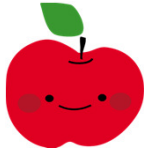


文部科学省委託「道徳教育改善・充実」
総合対策事業指定

高野中学校区の取組，
授業のポイントについて



庄原市立高野小学校
教諭 松園 聡

庄原市立高野中学校
教諭 渡邊 清文

発表の流れ

- 1 昨年度の取組について
- 2 昨年度の成果と課題
- 3 今年度の取組について

1 昨年度の取組について

《研究主題》

心豊かに人とかかわり合う児童生徒の育成
～対話を通した練り合い・学び合い活動の工夫～

《研究仮説》

体験活動と関連させた道徳の時間において、練り合い・学び合い活動を充実させれば、子供は人や地域と進んで関わり、思いやりと感謝の気持ちをもって行動できるようになるであろう。

【目指す子供像】

人や地域と進んでかかわり，思いやりと感謝の気持ちをもつて行動する子供

道徳的実践力の向上

取組

- 体験活動と関連させた道徳の授業づくり
- 練り合い・学び合い活動の充実
- 「私たちの道徳」の活用
- 小中連携による発達段階をふまえた授業づくり及び校内研修システムの構築

体験活動と関連させた道徳の授業づくり

年間計画

月	小学校体験活動	道徳の時間	中学校体験活動
4月		4-(1)うさぎのえんそく(小1) 1-(3)遠足の子どもたち(小5) 4-(3)キャプテンとして(小6)	
5月	新入生歓迎遠足(全) まちたんけん(2・3年)	4-(5)町のひみつわかったよ(小2) 4-(5)ふるさといいとこさがし(小3) 4-(1)元さんと二通の手紙(中3)	生徒総会(全)
6月	さつまいも栽培(低) → 森と水体験学習(高)	3-(2)ぼくのあさがお(小1) 3-(2)げんきにそだてミニトマト(小2) 3-(2)一ふみ十年(小5) 3-(2)豊産さんからのメッセージ(小6) 4-(5)できることを精一杯やる(中2)	職場体験学習(2年)
7月	ごみ処理場見学(4年) →	3-(2)一枚の葉(中3) 2-(4)しょうぼうだんのおじさん(小4)	花植えボランティア(3年)

体験活動と関連させた道徳の授業づくり

取組の具体例(小学4年)

体験活動『ごみ処理施設見学』

道徳の時間『しょうぼうだんのおじさん』
(尊敬・感謝)



くらしを支えてくれる人々の
習力や工夫

地域の消防団の方からの
メッセージ

進んで地域とかかわろうとする気持ち

《児童の感想》 ○ くらしを支える人が地域にもたくさんいることがわかり、ありがとうと言いたいと思いました。
○ 地域のために自分にもできることを見つけないかと思いました。

「練り合い・学び合い」活動の充実

目指す「練り合い・学び合い」の姿

- ①前期(小1～小4)…友達のことを自分のことをもちながら**聞く**質問できる。道徳的価値の自覚を深める。
- ②中期(小5～中1)…友達のことを自分のことと比較して**聴く**。関連付けて発言する。聴いた感想を言う。道徳的価値の自覚を深める。
- ③後期(中2～中3)…共通点や相違点を整理しながら**訊く**。質問や自分のことを言う。主体的に話し合いを進める。

「練り合い・学び合い」活動の充実

手立て

- ① ワークシートの工夫
- ② ペア・グループ活動の工夫
- ③ 意思表示カードの工夫
- ④ 基本発問・中心発問の工夫
- ⑤ 全体交流の工夫

「練り合い・学び合い」活動の充実

取組の具体例(中学3年)

仲間の意見をきこう

- 1.人の意見を受けて…
- 2.話の中の「心」の気持ちに
- 3.自分な…今後の自分は

①ワークシートの工夫

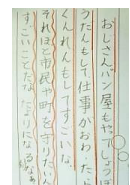
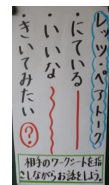
- 多様な形式を取り入れる
 - ・友達の意見を分類する欄(同意・共感・発見・相違)
 - ・自分の考えを深めてくれた意見(なるほど等)を書く欄
 - ・自己評価欄・自分の考えをマークする欄
 - ・吹き出し形式・手紙形式
 - ・絵や記号で書く形式

物類 の名称	☑チェックしよう	★メモしよう ※テープ
同意(同じ意見)	<input type="checkbox"/>	
共感(意見は違っても 気持ちよくわかる)	<input type="checkbox"/>	
発見(なるほど!それは 気が付かなかった)	<input type="checkbox"/>	
質問(なぜ?)	<input type="checkbox"/>	
相違(自分とは違う)	<input type="checkbox"/>	

「練り合い・学び合い」活動の充実

② ペア・グループ交流の工夫

- ペアを組み替えて、多様な思いにふれさせる。
- ワークシートを交換させ、「いいな」「にているな」「聞いてみたいな」の部分に線やマークを記入し、新たな気づきをメモさせる。



「練り合い・学び合い」活動の充実

③ 意思表示カードの工夫

○自分の考えを表明させる

- ・心情円グラフを使って、ペア交流する。
- ・ネームプレートを黒板に貼り、自分の考えや立場を明確にして交流する。



- 自分の考えを再認識
- 心情の変化を認識

「練り合い・学び合い」活動の充実

④ 基本発問・中心発問の工夫

- 答えやすい発問(選択式等)…その理由を発表させ、練り合いを深めるための発問
- 心を揺さぶられる中心発問…考える必然性や切実感のある発問
- テーマ発問…資料の主題であるテーマそのものを直接掘り下げたり追究したりしようとする発問
- 発問の構成…終末(振り返り)で、子供から引き出したい内容を考えて構成

「練り合い・学び合い」活動の充実

⑤ 全体交流の工夫


- 記述内容のキーワードを読み取り、短時間に**座席表で分類**する。
- 段階的に価値の高いものへ向かうように**意図的指名**をする。

取組の具体例 (中学1年)

○「どうして、「荷物を持ちましょうか。」と声をかけられる「ぼく」に変わったのでしょうか。」

- ・僕もなにか親切をしてみたいから。
- ・この前、親切にされたときうれしかったから。
- ・ぼくにもできそうなことだから。
- ・思い切った人に親切にできたとき、すがすがしい気持ちになるから。
- ・心の温かさをもらえるから。

○児童生徒の発表を細かく予想することが重要




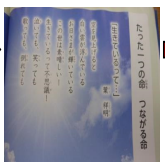

「私たちの道徳」の活用 **取組の具体例 (小学3年)**

《活用の場面》

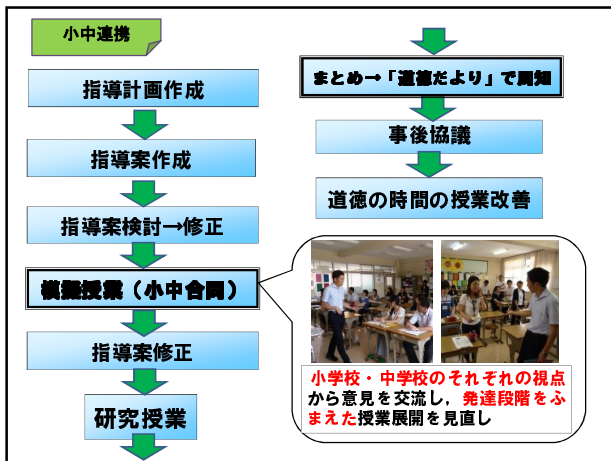
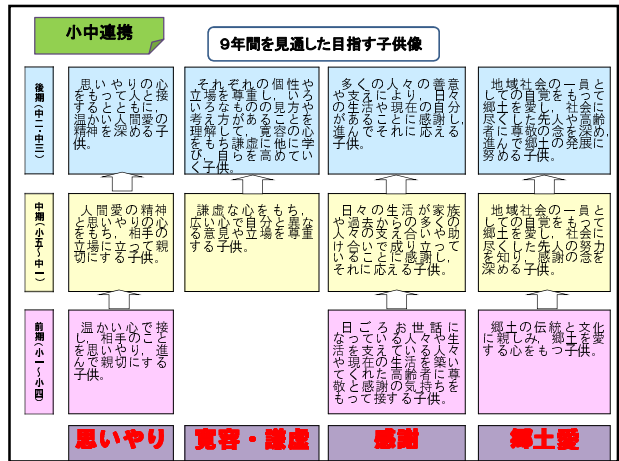
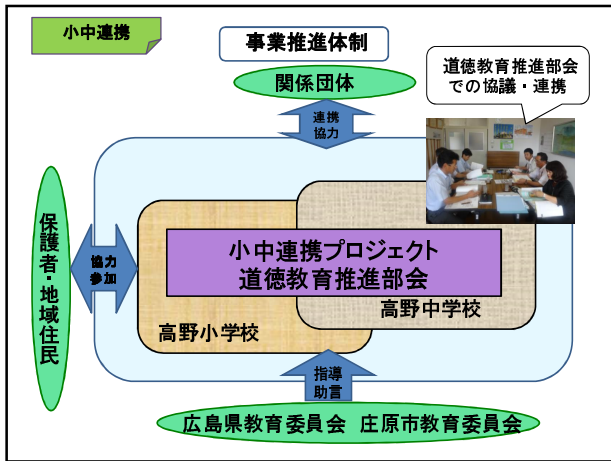
①道徳の時間の授業で ②学級朝会等で ③教科で ④家庭等で(記入してもらい授業で扱う、サインをもらう)

小学3年生 道徳の時間
『ヌチヌグスージ(いのちのまつり)』
3-(1) 生命の尊重

「私たちの道徳」3・4年
P100~101 読み物資料として使用。命の大切さについて理解を深める。

●みんなも自分の家族のことを考えてみましょう。



2 昨年度の成果と課題 アンケート結果より

成果 **練り合い・学び合い活動の充実**

「道徳の時間は、他の人の考えを聞きながら自分のことについてよく考えている。」

肯定的な回答
5月: 89.4% ⇒ 1月: 95.6%

人や地域と進んで関わり、思いやりと感謝の気持ちをもって行動する

「人が困っている時は、進んで助けている。」

肯定的な回答
5月: 90.9% ⇒ 1月: 93.7%

課題

小中連携による発達段階を踏まえた授業づくり

- 小・中学校にまたがる発達段階「中期」(小5～中1)について、目指す子供像や授業づくりの際の留意点等について、具体的なイメージを共有することが難しかった。

練り合い・学び合い活動の充実

- ペアやグループで話をする際、自分の意見を言っただけで終わりになり、進んで話し合いをして深めていくことに課題がある。

今後の方向性

- 体験活動と道徳の時間の授業をより効果的に関連づけていくための工夫についてさらに研究していく。
- 練り合い・話し合いの質的向上(主体的に議論できる、考えの相違があったとき問いかけができる等)のための手立てをさらに研究・実践していく。
- 教科化に向けて、評価の在り方について研究し、評価システムを構築していく。

3 今年度の取組について

昨年度をふまえた今年度の方向性

- 体験活動と道徳の時間の授業をより効果的に関連づけていくための工夫についてさらに研究していく。
- 練り合い・話し合いの質的向上(主体的に議論できる、考えの相違があったとき問いかけができる等)のための手立てをさらに研究・実践していく。
- 教科化に向けて、評価の在り方について研究し、評価システムを構築していく。



【目指す子供像】

人や地域と進んでかかわり、思いやりと感謝の気持ちをもって行動する子供

《研究主題》

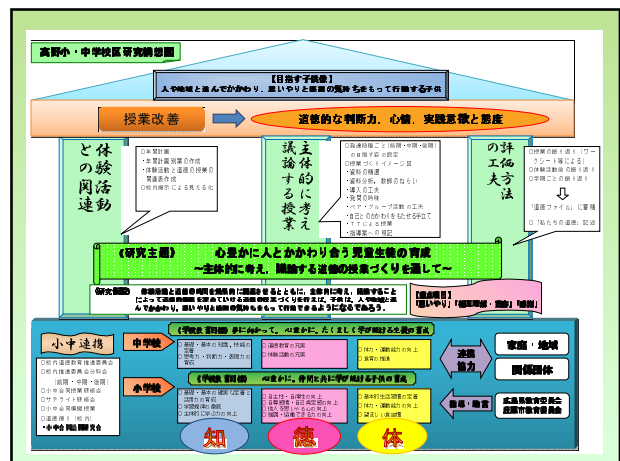
心豊かに人とかかわり合う児童生徒の育成
～主体的に考え、議論する道徳の授業づくりを通して～

《研究仮説》

体験活動と道徳の時間を効果的に関連させるとともに、主体的に考え、議論することによって道徳的価値を深めていける道徳の授業づくりを行えば、子供は、人や地域と進んでかかわり、思いやりと感謝の気持ちをもって行動できるようになるであろう。

【重点項目】

「思いやり」「相互理解・寛容」「感謝」



体験活動との関連

- 年間計画別葉の作成
- 体験活動と道徳の授業の関連表
- 校内掲示による見える化

校内掲示による見える化

道徳の時間 (どうとくのじかん)

教科書「いじめにやっただよ」
おきて「しょうがいかつがをたのしもうとすきもちをもとう。」

たかのしょうがっこうに じょうがくして 毎にが
たのしかつたかな。

たんきゅうの
べんきょうが
たのしいよ

きょうせいじかんの
おにごっこが
たのしかつたよ

たのしいが
たのしかつたよ

きょうしゅうの
じかんが
たのしいよ

せんせいゆ
とをだちきょうのが
たのしいよ

たかのしょうがっこうには たくさんの ぎょうじ
もあります。 たのしみですね！！

体験活動 (たいけんかつどう)

「しょうがっこうせいかつが
はじまっちゃよ」

じょうがくしき

じゅうぎょう

どうじ

きょうせいじかん

きょうしゅう

しいだつどう

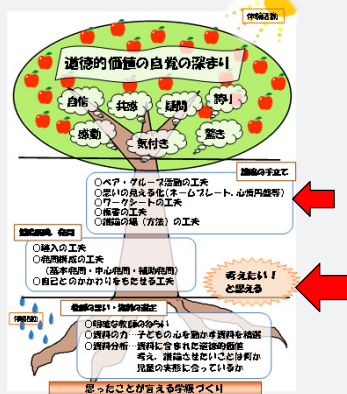
主体的に考え議論する授業

- 発達段階ごと (前期, 中期, 後期) の目指す姿の設定
- 授業づくりイメージ図
- ・資料の精選
- ・資料分析, 教師のねらい
- ・導入の工夫
- ・発問の吟味
- ・ペア・グループ活動の工夫
- ・自己とのかかわりをもたせる工夫
- ・TTによる授業
- ・指導案への明記

主体的に考え、議論する目指す子供像

前期	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの考えをもとうとする。 ・友達の考えを最後まで集中して聞き、付け加えや質問ができる。 ・自分の考えをもち、発表できる。
中期	<ul style="list-style-type: none"> ・体験と関連付けながら考えようとする。 ・友達の考えを自分の考えと比較して聴き、付け加えや質問、新たな気づきについての発表ができる。 ・友達の意見を聞いて自分の考えを補強、修正することができる。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的価値について考えようとする意欲をもち、自分の生き方について考えようとする。 ・異なる意見を認め、共通点や相違点を整理しながら訊き、それらを踏まえた発言ができる。 ・生活や体験と関連付けて考え、深まった道徳的価値や今後の生き方に対する思いを語り合うことができる。

主体的に考え、議論する道徳の授業づくりイメージ図



指導案

7 研究内容との関連

主体的に考えたいと思える ● 拠	議論する手立ての工夫
(導入の工夫) (資料自体がもつ力) (資料を通してぜひ考えさせたいこと) (児童の実態との関連) (体験活動との関連) (自己とのかかわりをもたせる工夫)	(授業展開や発問の工夫) (授業での具体的な手立て) ※ 基本的には、「主体的に考え、議論する授業づくりイメージ図」の上の方の「議論の手立て」及び「授業展開」、「発問」の部分。
※ 基本的には、「主体的に考え、議論する授業づくりイメージ図」の「根」及び「導入」、「自己とのかかわりをもたせる工夫」の部分。	

評価方法の工夫

○授業の振り返り（ワークシート）

○体験活動後の振り返り

○学期ごとの振り返り

↓
「道徳ファイル」に蓄積

○「私たちの道徳」記述

ワークシート基本型（例）

は、評価に生かす記述のマーク。形式が変わっても必ず付けるようにする。

○今日の学習の振り返りを書こう。

本時の振り返りを書く欄

交流後新たな気付きを書く欄

トッチボール
中心発問
○「みんなの意見がみんなの意見になるように話してほしい」

名前（ ）
番名（ ）

体験活動及び学期末の振り返り（例）

（ ）の振り返り
名前（ ）

○（ ）について振り返ろう。感じたこと、考えたこと、学びの成果でも良いこと。これから自分自身のことなど、心の動きについて書いてみよう。

Large empty box for writing reflections.



小中連携

- 道徳教育推進委員会
- 道徳教育推進部会
(前期・中期・後期)
- 小中合同授業研修会
- サテライト研修会
- 小中合同模擬授業
- 道徳だより
- 小中合同公開研究会
(9月30日)



中期（小5～中1）部会
指導案検討の様子

本日の公開授業（13:30～14:15・14:20）

- 小3年生 「わたしのしたこと」
【2－（2）親切、思いやり】
- 小5年生 「くずれ落ちただんボール箱」
【2－（2）親切、思いやり】
- 中3年生 「思いやりのある人って・・・」
【2－（2）、思いやり】